

令和5年（2023年）7月4日

令和5年度池守田中家文書特別公開展「池守田中家のおサイフ事情」  
～池守の経済的背景、家計状況などを具体的に示す古文書などを展示～  
<大阪府立狭山池博物館>

狭山池博物館では、ながらく狭山池の管理・運営に携わってきた池守田中家の貴重な古文書をお預かりして、年に一度順次テーマを定めて公開・活用してきました。

今回は池守の経済的背景、家計状況などを具体的に示す古文書などを展示・公開して、江戸時代後期の裕福な農民層の生活を考えます。

- 【期 間】 令和5年（2023年）7月15日（土）～8月27日（日）  
午前10時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
- 【休館日】 月曜日休館、月曜が祝休日の場合は翌日が休館
- 【会 場】 大阪府立狭山池博物館・特別展示室  
（大阪狭山市池尻中2丁目）
- 【入館料】 無料

■関連イベント 歴史セミナー

第1回 7月23日（日）午後2時～3時30分（開場午後1時30分）

「池守田中家のおサイフ事情」中山 潔（当館学芸員）

第2回 8月27日（日）午後2時～3時30分（開場午後1時30分）

「田中家の冠婚葬祭、普請」中山 潔（当館学芸員）

会場：大阪府立狭山池博物館2階ホール

定員：126名（当日先着順）

参加費：無料（申し込み不要）

展示解説：期間中、毎日曜日午前11時から（7月30日のみ午後1時から）特別展示室で展示解説を行います（申し込み不要）

問い合わせ 大阪府立狭山池博物館（担当/上本）☎072-367-8891

## 主な展示品



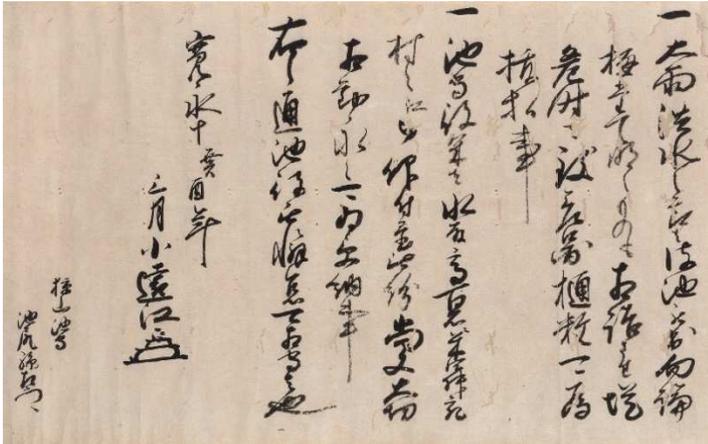
### 田中家の大福帳

江戸時代後期の文化6年（1809）から天保4年（1833）に及ぶ池守田中家の金融資産台帳。毎年正月に、金融資産を総決算して、増減をしるしたもの。この帳簿によって、田中家の金融資産の変動がうかがえる。



### 田中家に伝来したおサイフ

近世文書とともに残されていた江戸時代のおサイフ。印鑑入れに転用されて残っていた。真向き（正面向き）のウサギと対面す二匹のる波乗りウサギ文様を織り出している。緞子（どんす）地と考えられる。



寛永10年(1633)小堀正一(遠州)の狭山池定書(さやまいけさだめがき)

池守の給与として、水懸かりの村々から高100石に付、米4升づつ徴収できる権限を最初に明文化した。  
 ※小堀遠州は江戸時代初期の土木・建築・作庭の名手。茶人としても著名である。



田中家に残った狭山池扶持米請取帳

池守の給与である扶持米は江戸時代を通じて、毎年10石から20石ずつ田中家の安定した収入源であった。その請取帳が約170年分、連年残されている。